

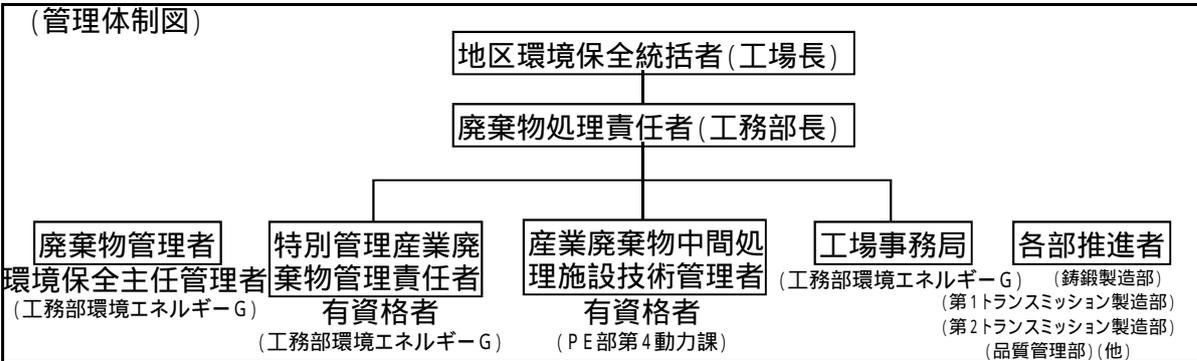
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成29年 6月 13日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県豊田市トヨタ町1番地	
氏 名 トヨタ自動車株式会社	
代表取締役社長 豊田 章男	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0565-28-2121	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	トヨタ自動車株式会社 衣浦工場
事業場の所在地	愛知県碧南市玉津浦町10番地1
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事業	
事業の種類	31 輸送用機械器具製造業
事業の規模	製造品出荷額
従業員数	3,216人
産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥 社内中間処理施設にて処理後、再生処理業者に委託し セメント原料として再資源化 廃油 再生処理業者にて、燃料として再資源化 廃酸 中間処理業者にて焼却 廃アルカリ 中間処理業者にて、焼却 廃プラスチック 社内中間処理施設にて処理後、再生業者に委託し セメント原料として再資源化 木くず 再生処理業者にて委託して、他用途原材料として再資源化 金属くず 再生処理業者にて分別し、他用途原材料として再資源化 ガラス・陶磁器くず 再生処理業者にて、溶融・破碎し、 他用途原材料として再資源化

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事業



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

現状	【前年度(平成28年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	排出量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) ・発生源対策による廃棄物の減量 ・真空濃縮装置による排液の水分の除去 ・スクルーコンベアの最適化による脱水量向上 ・分別によるリサイクル化と廃棄物減量	
計画	【目標(平成29年度)】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	排出量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) ・現状取組の継続 ・他工場、他社のベンチマーク ・廃棄物の利用技術検討	

産業廃棄物の分別に関する事項

現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・写真や廃棄先を明示した文章の掲示による適切な分別の実施 ・分別不良があった際の工場内展開と、必要な是正処置の実施
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状取組の継続 ・適宜新人教育、昇格者教育の実施による理解度向上

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

現状	【前年度(平成28年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) ・該当なし	
計画	【目標(平成29年度)】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) ・該当なし	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

現状	【前年度(平成28年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙参照
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) ・廃棄物発生源対策による減量	
計画	【目標(平成29年度)】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙参照
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) ・現状取組の継続	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

現状	【前年度(平成28年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) ・直接埋立及び海洋投入処分なし	
計画	【目標(平成29年度)】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) ・現状取組の継続	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

現状	【前年度(平成28年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	全処理委託量	別紙参照
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙参照
	再生利用業者への処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙参照
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り優良認定業者、再利用業者への委託実施 ・適切な業者監査の実施	

計画	【目標(平成29年度)】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	全処理委託量	別紙参照
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙参照
	再生利用業者への 処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙参照
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙参照
	(今後実施する予定の取組) ・現状取組の継続 ・他社、他工場ベンチマークによる情報収集と より良い処理方法の模索	
事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) 欄には、日本標準産業分野の区分を記入すること。
  - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

